



Le Vert
ル・ベール山の会

モロッコってどんな国？

去年10月下旬、モロッコに行ってきました、と言うと、モロッコってどこにあるの？とだいたい聞かれます。あるいは、ハンフリー・ボガードとイングリッド・バーグマン主演のカサブランカという映画の国？という程度で、あまり皆さんには馴染みのない国ようです。私は若い頃仕事で何度か訪れていますが、サハラ砂漠やアトラス山脈をゆっくり見たことはなく、一昨年のニュージーランドに続き、自然と文化に触れられ、西欧・アジアとちょっと違ったアラブ・イスラム文化圏で最も安全？なモロッコを巡るツアーに参加しました。

関空から少し座席広目のA380に乗って10時間で乗継地のUAEドバイへ（世界陸上選手権？や今年の万博の開催地で、素晴らしい発展を遂げている国らしく大きな綺麗な空港でした）、そして8時間更に乗ってモロッコのNo.1商業都市カサブランカに到着。道路や街は整備されて車も多いですがなんとなくのんびりした感じ。国王ゆかりのモスクや広場を観光して首都のラバトへ。ようやくベッドで横になり、翌朝ラバトにある巨大なモスク・霊廟のムハンマド5世廟でそのタイルでのモザイク模様と色合いに感動した後、町全体が青一色に染められた（観光目的に塗られた？）小さな山裾の町シャウエンを經由して、モロッコ王朝最古の都市フェズに到着。

翌日4日目は一日かけてフェズ観光。砦に囲まれた旧市街（メディナ）では羊の頭が並べられ肉が一頭分吊るされた肉屋、何十種類もの香辛料が香り色んな種類のナツメヤシ・果物、衣類からスマホ・日用品とあらゆるものの店が迷路の中に延々と並んでおり活気に溢れていて、千年以上昔から同じ光景だっただろうとタイムスリップした様でした。皮なめし工場では臭いがきつく見学者にはミントの葉が渡され鼻の穴に詰めて工程を見学しましたがお互いを見てみんな大爆笑。お茶の時間がきたので、メディナの一般家庭で、モロッコではどこに行っても出されるミントティーとお菓子を頂きました（どちらもムチャ甘い！）。

5日目・6日目は一番楽しみにしているサハラ砂漠へ。中部アトラス中腹1650mにある美しいリゾート地イフレンに立ち寄りアトラス山脈を車窓に見ながらカスバ街道を走り砂漠観光の玄関口のエルフードに8時間かけて到着。ここから暫くすると砂漠になるので四駆に乗り換え宿泊地のメルズーカへ向かう。若いドライバーは道のない砂漠を好きなようにジグザグに走るの道に迷わないか心配になるが無事ホテルに到着。テントでの宿泊ではなく大きな古い様式の立派な部屋で安心したがテントでも良かった？砂漠の向こうに日が沈むのをホテルのテラスから眺めて感動！夕食後、暗くなってからガイドと一緒に星を見に砂漠へ。砂丘の手前から目を閉じて歩きましょうと言うのでそうすると、小山の上に着いた様で目を開けると満点の星が空に輝いていてまた感動。

翌日は砂丘から昇る朝日を見に朝食前の5時半に集合。砂漠では砂が細かく口や鼻、スマ

ホ・カメラに入り込むので、人はターバンのようなものを頭から口にかけて覆い、機械類はジップロックに入れて出発前の準備をする。「月の砂漠」のイメージ通り多くの方はラクダに乗って隊列を組んで暗い中を半時間ほどかけて見晴らしの良い砂丘へ。私達は落ラクダを心配して歩き組に入る。到着してみんなが待つこと半時間。折り重なる砂丘の向こうから太陽が昇り始めた。あちこちの砂丘の上から歓声上がる。ほとんど雨は降らないが（砂漠だから当然？）晴れて良かった！鳥取砂丘とはちょっとスケールが違うのでサハラまで来て良かった！砂丘に名残を惜しみながらホテルに戻り砂丘近くのテントの中でベルベル風に朝食。

砂漠での滞在はこれまで。また四駆でエルフードに戻りバスに乗ってアトラス山脈に沿ってカスバ街道を西へ。延々と続く乾燥地にはほとんど草木はなくベルベル人のテントとかが点在するだけ。ところどころオアシスがあり川の両岸にはナツメヤシの林がこんもり。山を越え丘を越え、途中ロッククライミングで有名なトドラ渓谷やハリウッド映画村・バラの香水店にも立ち寄り宿泊地のワルザザードに到着。

7日目は世界遺産のアイト・ベン・ハッドウというレンガ作りのこんもりとした山の様な集落（カスバ）の中の一般家庭でまたミントティーをごちそうになり、美容で有名なアルガンオイルを作っている協同組合にも立ち寄りショッピング。あとは一路次の重要訪問地であるマラケッシュに向かうが途中モロッコ自動車道路で最高地点 2260m のティシュカ峠で一服。見晴らしは良いが風が強く寒い！

マラケッシュに夕方早めに到着したのでホテル近くのスーパーで買い物。お土産はチョコとか安いので皆さん爆買い！欧米から観光客が押し掛ける有名なリゾート地なので街もホテルも美しい！

8日目は終日マラケッシュの旧市街観光。宮殿や素晴らしいモザイク建築のスルタンの墓（モスク）・メディナ散策の後、夕方には最も人が集まるジャマエルフナ広場へ。広場を取り巻くスークにはフェズと同じようにあらゆるものが売られており、広場では芸人が踊ったり演奏したりコブラや猿使いがいたり賑やかで、カフェの2階からミントティーを飲みながら暫くその様子を楽しみました。

9日目はカサブランカに戻り、ドバイ経由で帰途に。

以上、思い出して書いてみましたが、内容の濃いいろんな楽しみが詰まったモロッコ旅行で、まだまだ書ききれないことがいっぱい。人懐っこい人々とこれからもそんなに変わることはない生活・文化にまたいつか触れてみたいと思っています。

今 E テレのアラビア語講座でモロッコが舞台になっています。途中でも、アラビア語を勉強しなくても、楽しいので是非ご覧ください。